

ボルグワーナー、小鵬汽車とのeモーター事業を強化

- 小鵬汽車のMPV、X9用に2024年1月より生産開始
- ステーター巻線技術により、業界トップクラスの出力密度と効率を実現
- 油冷方式によりモーターの放熱性が向上

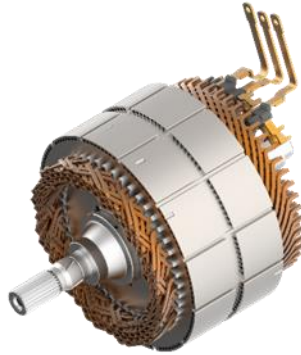
革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(NYSE: BWA/ 本社: アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者: フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は、2024年2月8日、中国のスマートEV大手、小鵬汽車(シャオペン、XPeng Motors)向けに、eモーター用ローター及びステーターの生産を開始しました。同製品は、小鵬の次期型電動Bクラスセダンのほか、X9 MPVにも採用される予定です。生産開始は2024年第3四半期を予定しています。高電圧ヘアピン(HVH)220 eモーターは、高出力・高トルク密度に加え、競争力のあるコストで高効率を実現します。また、耐久性にも優れています。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長であるステファン・デメール、博士(Dr. Stefan Demmerle)は、次のように述べています。

「実績のある当社のステーターとローターを大手OEMの小鵬汽車に供給し、中国の電気自動車産業の発展を後押しできることをうれしく思います。小鵬が電気駆動系の設計を進める上で、ボルグワーナーの持つ製品に関する深い造詣が大きな支えとなると確信しております」

HVH220 eモーターは、外径220mmのステーターとボルグワーナーが特許を保有する高電圧ヘアピン巻線技術を採用し、動作範囲は最大800Vまでとなっています。永久磁石ローターと独自のステーター絶縁強化技術により、最高の耐久性と信頼性を提供します。HVH220は、最大出力300kW、最高回転数18,000rpm、ピーク効率97%以上を実現します。

ボルグワーナーは、高出力モーターの性能要件を満たすため、油冷式ソリューションを開発しました。具体的には、ギアボックスのオイルがモーターを冷却し、熱伝達性とシステム全体の排熱を改善します。また、ローターオイルを直接冷却することで、電気モーターコアから熱を取り出し、より高いトルクと出力密度を達成することができます。



ボルグワーナーの HVH220 は、様々なスタック長、冷却性能、巻線構成の e モーターを、カートリッジアセンブリまたは完全ハウジングの製品としてご利用いただけます。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近の Form 10-K 年次報告書（以下、「Form 10-K」）の第7項「重要な会計方針および試算 (Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼ

す供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ウクライナおよび中東地域における戦争による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、最近完了した、旧フューエル・システムズ部門とアフターマーケット部門の非課税スピノフ取引が当社にとって意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性がある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性(一部のOEM顧客を巻き込んだ最近および将来のストライキの程度、期間、影響、および当該OEM顧客が取る対応策)、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL:070-4303-7215(中井)、090-9031-5032(小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp